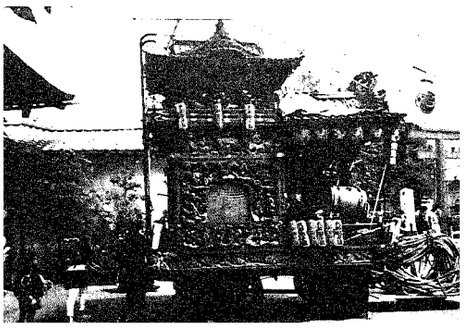
八朔祭屋台シリーズ7

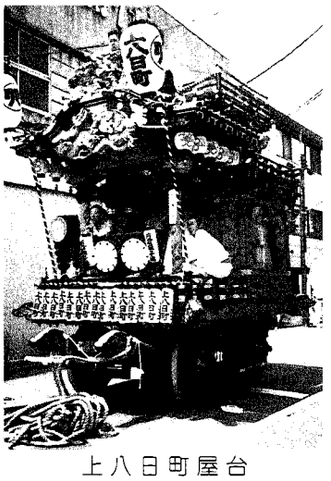
江戸時代、谷村は郡内地域の絹織物の中心地として、江戸と頻繁に行き来していました。この中間に位置する八王子もまた、付近の絹織物の集散地として栄え、甲州街道屈指の宿場町として発展していました。この甲州街道をとおして、江戸の文化などが伝わり、特に八王子の文化圏は谷村にも多くの影響を与えました。この同じ産物で富を築いた八王子にも山車、屋台が曳かれる祭りが古くから行われています。

今回は、八朔祭屋台に大きな影響を与えた、八王子屋台の紹介をしたいと思います。

八王子の中心地域は現国道一六号を境に東部地域は八幡、天王社（現八幡八雲神社）の氏子、西部地域は多賀社（現多賀神社）の氏子地域に分かれ、それぞれ「下の祭り」「上の祭り」として江戸初期から伝統ある祭礼として現代に至っています。



元横山町屋台



上八日町屋台

享保年間（一七一六～一七三五）ころ、この両神社の例大祭に人形をのせた人形屋台が奉曳されるようになったという記録が残されています。

現在曳かれている山車は、三種類に大別されています。

単層唐破風人形屋台は、江戸後期の人形屋台構造を継承したもので、工法は江戸様式。唐破風屋根の中央部から後部にかけて棟が二つに分かれ、前部が囃子台、後部が楽屋となっています。その棟の中間から人形の心柱（一本柱）を立ち上げ、これこそ人形屋台の特色となっています。台輪の下部構造は組形、平板四つ車または源氏車です。

二、三層鉾山車は、明治四〇年以降、電灯架線が張られ人形屋台に人形がのせられなくなり考案された構造の山車で、後部の鉾台部分と前部の唐破風向拝囃子台からなっています。工法は江戸様式。外壁は総体彫刻が組み込まれていて、台輪の下部構造は組形、車は平板または源氏車四つ車です。

八ツ棟、四ツ棟などの屋型をもった社寺建築の様式を応用した堂宮型式の山車は、大正期に入って建造されたものです。工法は江戸様式。台輪上に六本柱の小屋組み、前部は囃子台、後部は楽屋で台輪下部の構造は組形、車は平板四つ車です。

また、八王子の山車の特徴は彫刻を主体としたもので、江戸型山車が幕で飾られているのとは対照的です。

昭和四十一年、両祭礼は、昭和三十六年に市民祭として発足した八王子まつりに併合され、現在八月第一土・日曜日に実施されています。

行事内容も新旧多様ですが、特に本祭、最終日の夜には甲州街道を舞台に、各町の山車、屋台に灯がともされ、祭り囃しが響く中、十台以上の山車、屋台が巡行され、揃いの浴衣姿で大勢の人々の流し踊りが行われます。特に山車のせり合いは、祭最後の夜にふさわしく多くの人を魅了します。

社会教育課　文化振興係

パートタイム労働者のための「短時間雇用管理者セミナー」を開催

パートタイム労働者が年々増え続け、平成八年度には全国で一千万人を超え、全雇用者の二〇％を占めるまでになってきています。

このうちの七割が女性で、パート労働を選ぶ理由としては「自分の都合のよい時間に働きたい」が半数以上を占め、「家事、育児などで正社員として働けない」などです。そこで、市内の事業主などを対象に「パートタイム労働の現状と能力活用について」と題したセミナーを開催します。

このセミナーは、短時間労働者を雇用している、また、これから雇用予定の事業主に対し労働関係法令・指針・需給状況などの情報提供を行うことにより、パート労働者への理解を深め、雇用管理上の課題など改善することを目的とし開催するものです。多数のご来場をお待ちしています。

※入場は無料です。

日　時　12月11日(木)
　　午後2時30分～
場　所　富士女性センター
　　3階大研修室
講　師　松岡二郎 先生
　　(宇都宮大学法学部講師)
共　催　都留市
　　財団法人21世紀職業財団
　　山梨事務所
協　賛　都留市商工会
　　都留市経営者連絡協議会
　　都留市地区中小企業労務
　　改善協議会
問合先　商工観光課
　　統計労政係

郵便局からおしらせ
来年2月2日から郵便番号が「7けた」に変更します

平成十年二月二日から郵便番号が、現行「三けた」または「五けた」が「七けた」に変わります。

これは、郵便業務の機械化、効率化を進め、将来とも安くて質の良い郵便サービスをご利用いただくために行うものです。

郵便局では、ただ今市内の全ご家庭にそれぞれの地域の新郵便番号をお知らせするチラシや新郵便番号簿をお届けしています。

新郵便番号制についての照会など郵便に関するお問い合わせは次の所で行っています。

都留郵便局郵便係　☎(45)1231

郵便サービス案内センター
☎0120(23)2886
取扱時間
平日　午前8時～午後8時
土・日・祝日
午前9時～午後5時

年賀状は12月24日ごろまでに!!

今年も残り少なくなり、そろそろお正月の準備をされていることと思いますが、年賀状は早めにお出しください。遅くなって出されますと元旦に配達できなくなることがあります。できれば十二月二十四日ごろまでに出してください。

来年二月から「七けた」の新郵便番号制が導入されます。年賀状でご自分の郵便番号を受取人にお知らせください。